

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和5年 6月30日</p>	
<p>愛知県知事 殿</p> <p>提出者 東京都品川区大崎二丁目1番1号 住友重機械工業株式会社 代表取締役社長 下村 真司</p> <p>住 所 愛知県大府市朝日町六丁目1番地</p> <p>氏 名 住友重機械工業株式会社名古屋製造所 所長 本田 兼志 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0562-48-5111</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	住友重機械工業株式会社 名古屋製造所
事業場の所在地	〒474-8501 愛知県大府市朝日町六丁目1番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	一般機械器具製造業、電気機械器具製造業
②事業の規模	前年度売上高 413.2億円
③従業員数	1103人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	製造所内で発生した産業廃棄物の収集運搬及び処理を業者委託 別紙『発生・処理フローシート』のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙『産業廃棄物管理組織図』のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 22 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥脱水処理及び脱水方法改善 ・マテリアルリサイクル化 ・塗装工程改善 		
② 計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・助燃材(油付き段ボール)の利用、排出状況の見直し ・塗料層の利用状況の見直し 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類毎に保管場所を設置して分別を実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出の抑制に関する取組の結果、新たな分別ルールが必要になった際は委託業者と協議の上、社内に展開する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

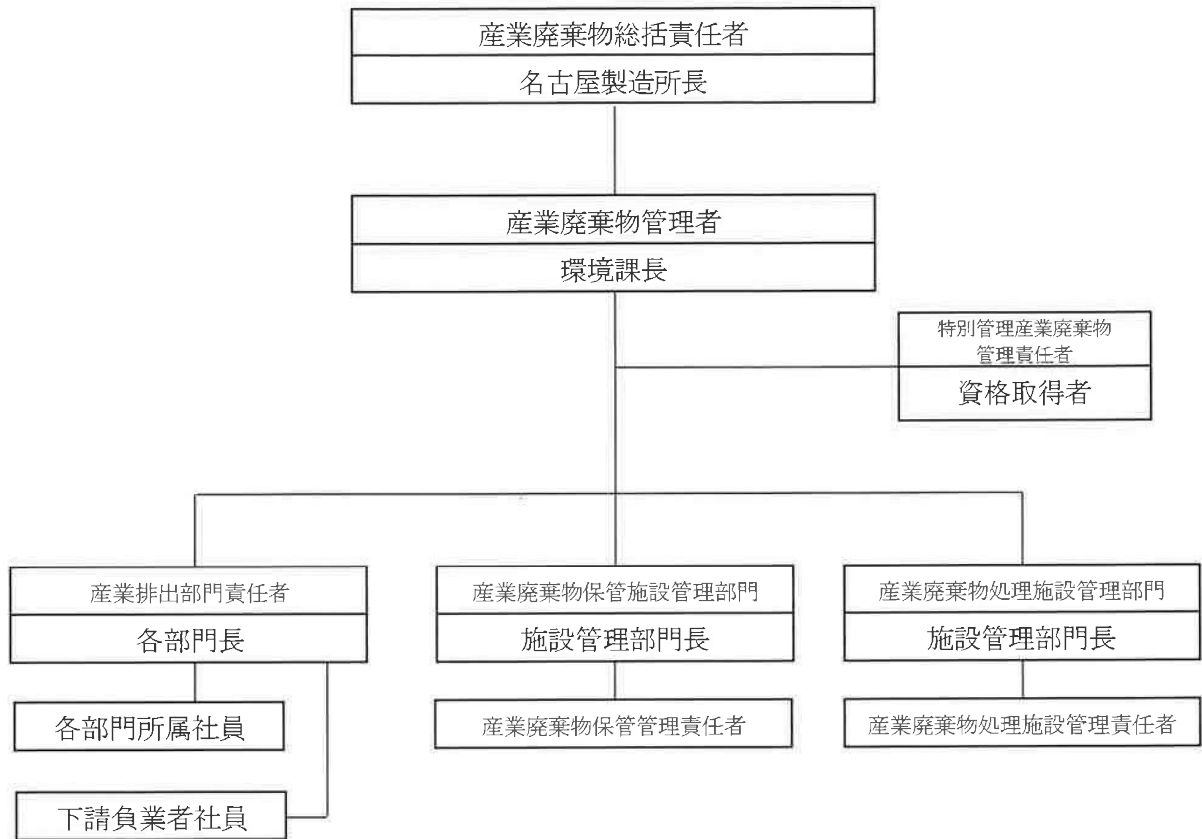
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

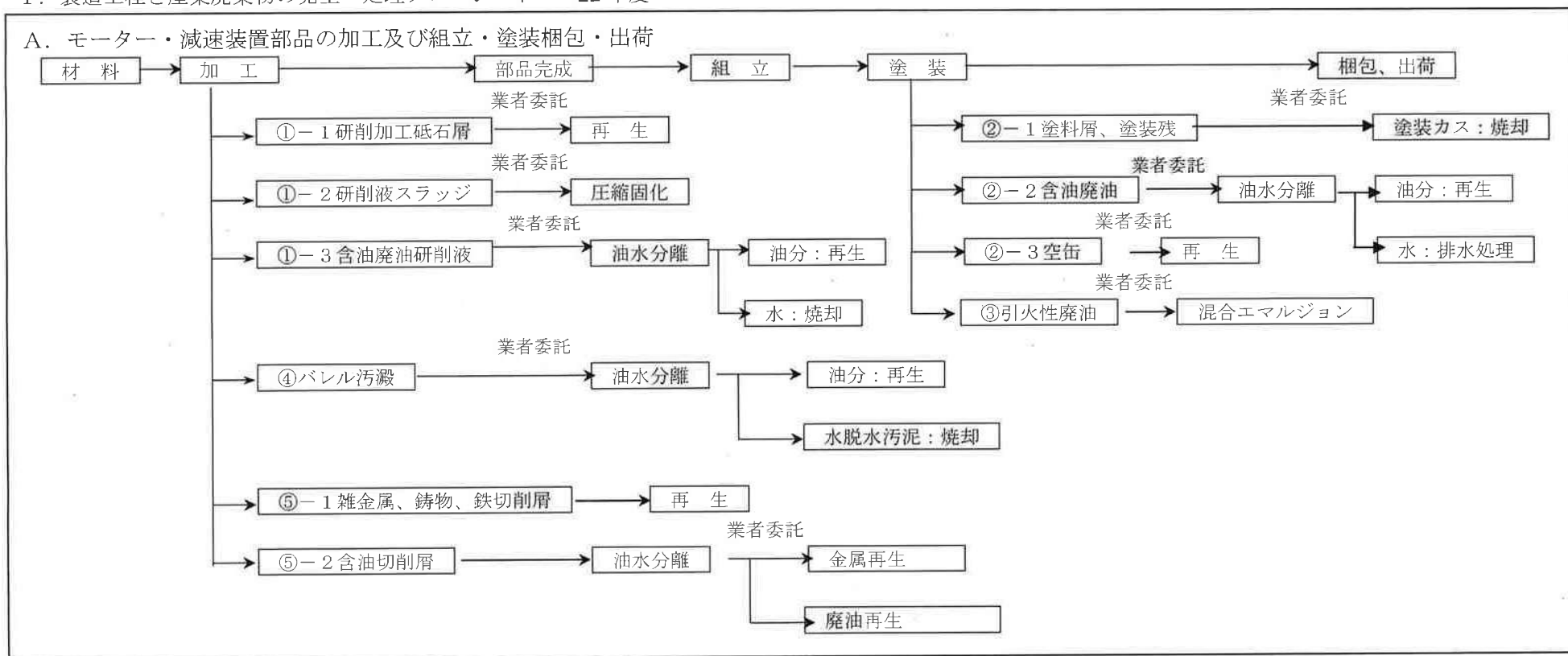
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

住友重機械工業(株)名古屋製造所
産業廃棄物管理組織図(図-1)



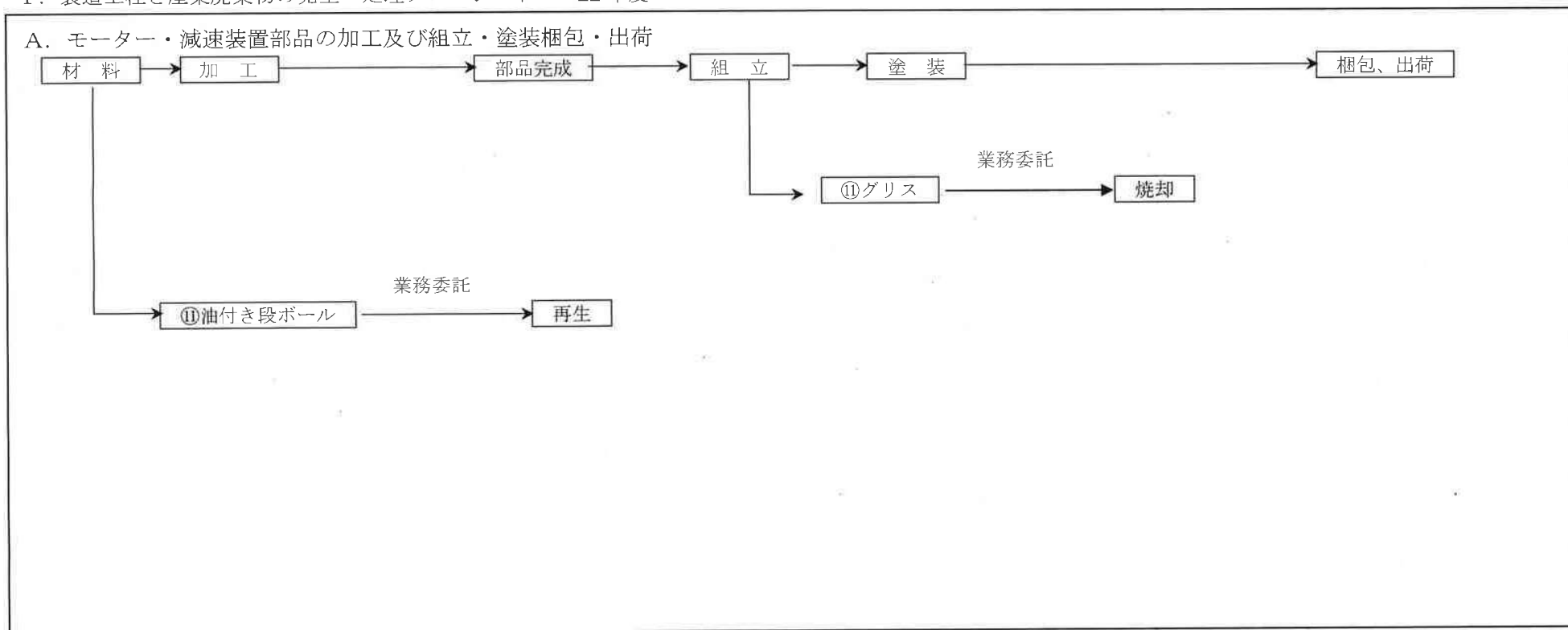
1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート 22年度



2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	年間の 発生量 (トン)	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
がれき	研削加工砥石屑	① - 1	8	固形状	株式会社チーイー(株) 選別	リサイクル
汚泥	研削液スラッジ	① - 2	97	汚泥	株式会社チーイー(株) 豊栄化学(株) 圧縮固化	〃
廃プラスチック類	塗料屑・ペンキ残渣	② - 1	32	固形状	株式会社チーイー(株) 豊田ケミカルエンジニアリング(株) 焼却	リサイクル
引火性廃油	塗料用シンナー	③	43	液状	株式会社サワ中部(株) サワテクノス 混合エマルジョン	特別管理産業廃棄物
廃油	含油廃水 (塗装ブース)	③ - 2	448	液状	株式会社サワ中部(株) サワビック 油水分離	リサイクル
〃	〃 (研削液)	① - 3	上記に含む	〃	〃	〃
汚泥	バレル汚泥	④	16	汚泥	株式会社ダイセキ 脱水	リサイクル

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート 22年度



2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	年間の 発生量 (ト)	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
廃油	廃グリス	⑪	2	液状	(株)セトウチ→豊田ケミカルエンジニアリング(株) 焼却、埋立	リサイクル
廃プラスチック類	油付きダンボール (助燃材)	⑫		固形状	(株)三四四 選別	〃

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート 22年度

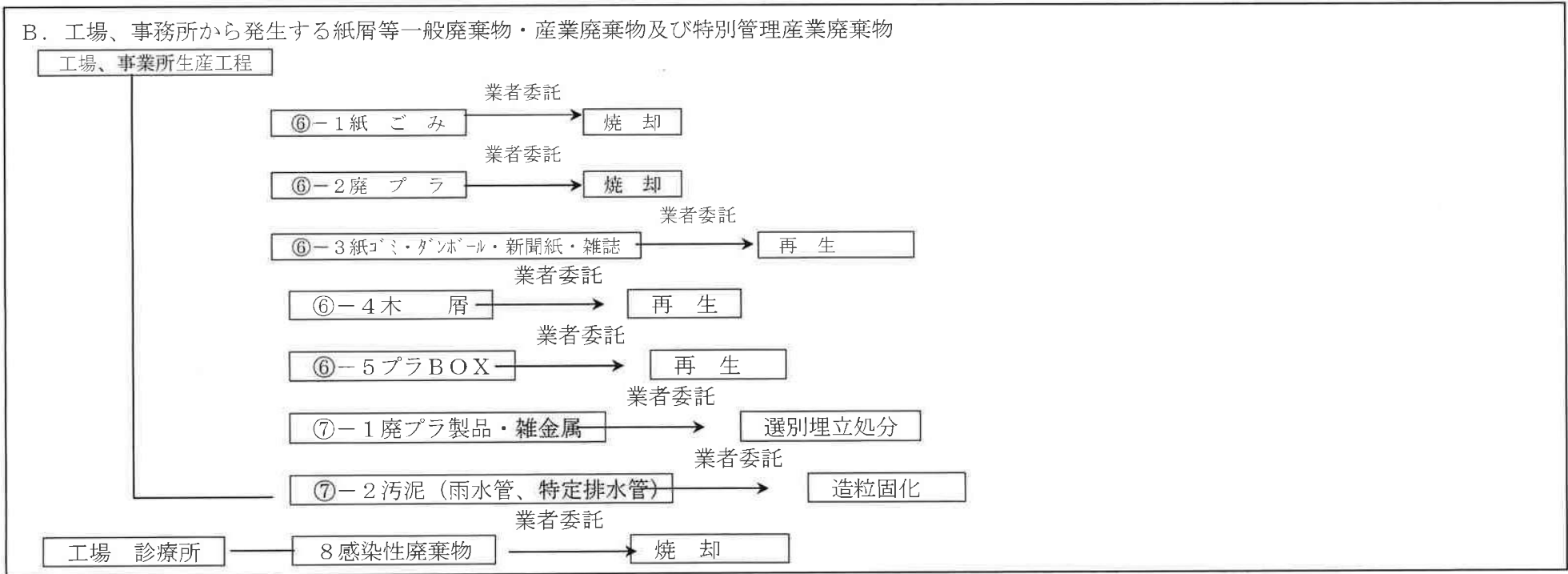
--	--	--	--	--	--	--

2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	年間の 発生量 (ト)	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
金属屑	雑金属	⑤-1	847	固形状	セトウチ、高澤、福田商店 再生	リサイクル (有価物)
〃	鋳物切削屑	⑤-1	上記に含む	〃	〃	〃
〃	鉄物切削屑	⑤-1	〃	〃	〃	〃
〃	空缶	②-3	〃	〃	〃	〃
廃油	切削油	⑦-3	25	液状	(株)ダイセキ 油水分離	リサイクル

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート 22年度

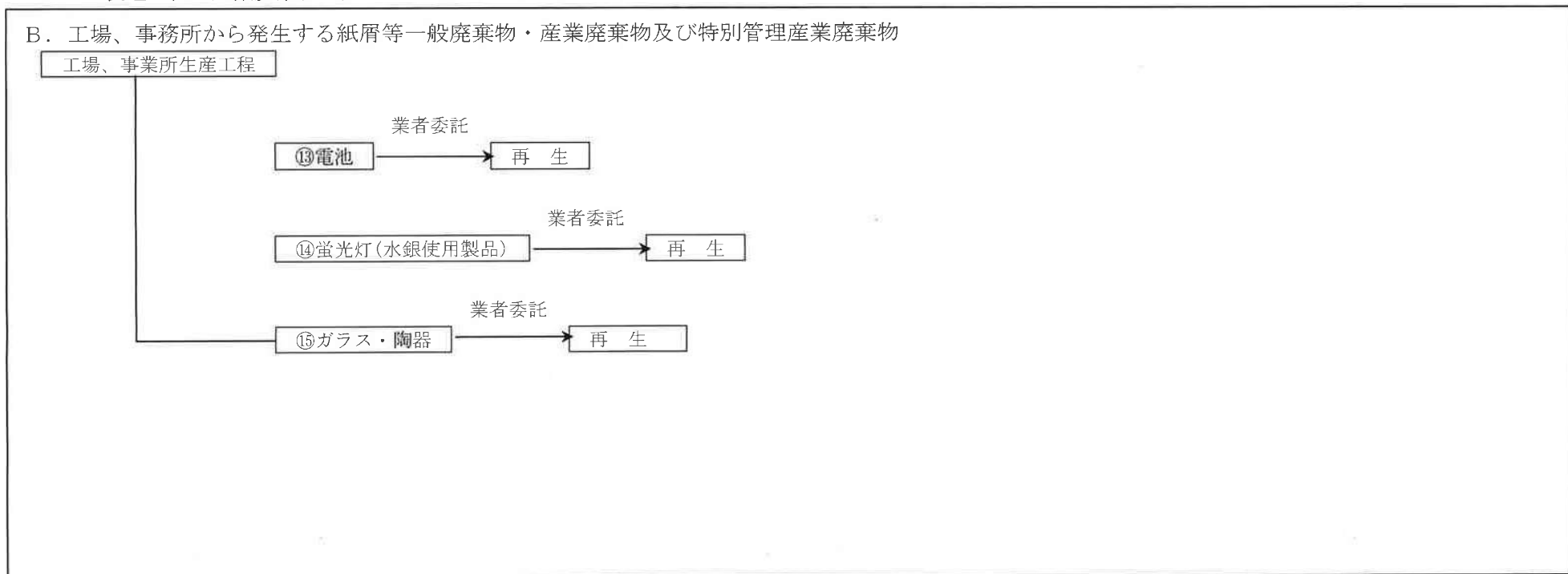
B. 工場、事務所から発生する紙屑等一般廃棄物・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物



2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	年間の 発生量 (ト)	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
廃プラ・紙・繊維の 混合物	紙ゴミ、ウエス・プラスチック製品	⑥-1	39	固形状	トーエイ(株)ーサンエイ(株)	焼却 リサイクル
廃プラ	ビニール	⑥-2	132	〃	トーエイ(株)ーサンエイ(株)	焼却 〃
紙屑	紙ゴミ・ダンボール新聞紙・雑誌	⑥-3	184	〃	トーエイー宮崎、トーエイー兼子	再生 リサイクル(有価物含む)
木屑	木屑、おが屑	⑥-4	292	〃	(株)三四四-フルビEPO(株)	再生 リサイクル(バイオマス及び 木材チップ)
廃プラ	プラBOX	⑥-5	0	〃	前田産業(株)	再生 リサイクル(有価物)
〃	廃プラ製品・雑金属	⑦-1	34	〃	セトウチートーエイ	選別埋立 リサイクル
汚泥	汚泥(雨水管・特定排水管)	⑦-2	7	〃	セトウチートーエイ	造粒固化 〃
感染性廃棄物	注射器・包帯	⑧	0	〃	事業者ーサンエイ	焼却

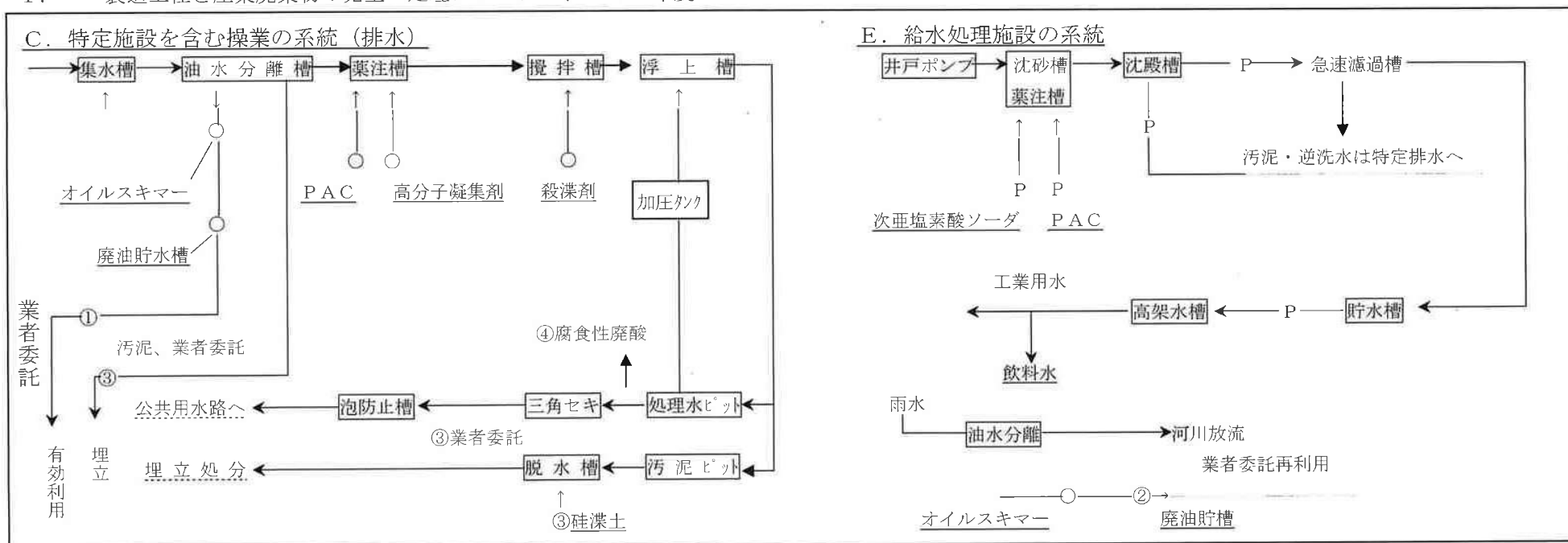
1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート 22年度



2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	年間の 発生量 (トン)	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
汚泥	電池	⑬	0	固形状	(株)三四四一興産(株) 選別・焙焼	リサイクル
水銀使用製品	蛍光灯	⑭	0	〃	トーエイ(株)・(株)サワヤ 破碎・脱水銀	〃
ガラス屑、コンクリート屑 及び陶器屑	ガラス、陶器屑	⑮	0	〃	セトウチートーエイ 選別	リサイクル

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート 22年度



2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	年間の 発生量 (トン)	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
廃油	特定施設より処理	①	0	油分95%以上	(有)ゼンユー 脱水再利用	
〃	雨水施設より処理	②	0	〃	〃	
脱水汚泥	特定施設脱水処理	②	3.9	規制基準以下	(株)ダイセキ 乾燥	
腐食性廃酸	測定器からの廃液	④	0	指定物質3項目含む	(株)ダイセキ 中和	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の種類		前年度実績(t)	これまでに実施した取組み	今年度目標排出量(t)	今後実施する予定の取組み
廃油	含油廃水	412.150	-		
	切削油	26.640	-		
	グリス	2.360	-		
廃プラスチック	紙ゴミ他	186.000	分別		
	助燃材	130.040	一部マテリアルリサイクル化(有価)	127.439	助燃材の利用、排出状況の見直し
	廃プラ製品・雑金属	30.130	一部マテリアルリサイクル化(有価)		
	塗料屑	42.880	-	42.022	塗料屑の利用状況の見直し
汚泥	研削液スラッジ	105.840	脱水処理		
	脱水汚泥	48.370	脱水処理		
	バレル汚泥	24.200	脱水方法改善		
	汚泥(雨水管、特定排水管)	6.600	-		
	電池	0.009	-		
木屑	おが屑	0.710	-		
ガラス・陶器	ガラス・陶器	11.261	-		
蛍光灯	蛍光灯	0.110	-		
燃えやすい廃油	塗料用シンナー	42.440	塗装工程改善		
pH2.0以下の廃酸	測定器からの廃液	0.110	-		
pH12.5以上の廃アルシアン化合物		0.023	-		
金属	亜鉛未塗料	0.017	-		
廃カーボン・活性炭	活性炭	0.030	-		

項目			産業廃棄物の種類											合計
			廃油	廃プラスチック類	汚泥	木屑	ガラス・陶器類	蛍光灯	金属屑	燃え殻	燃えやすい廃油	pH2.0以下の廃酸	pH12.5以上の廃アルカリ	
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	排出量	①現状(前年度)	441.150	389.050	185.019	0.710	11.261	0.110	0.017	0.030	42.440	0.110	0.023	1069.920
		②計画(目標)	441.150	385.592	175.599	0.710	11.261	0.110	0.017	0.000	42.440	0.110	0.000	1056.989
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		②計画(目標)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		②計画(目標)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		②計画(目標)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋処分に 関する事項	処分量	①現状	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		②計画(目標)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	①現状(前年度)	441.150	389.050	185.019	0.710	11.261	0.110	0.017	0.030	42.440	0.110	0.023	1069.920
		②計画(目標)	441.150	385.592	175.599	0.710	11.261	0.110	0.017	0.000	42.440	0.110	0.000	1056.989
	優良認定業者への 処理委託量	①現状(前年度)	42.990	358.920	178.419	0.710	0.001	0.110	0.017	0.030	42.440	0.090	0.000	623.727
		②計画(目標)	42.990	355.462	168.999	0.710	0.001	0.110	0.017	0.030	42.440	0.090	0.000	610.849
	再生利用業者への 処理委託量	①現状(前年度)	441.150	389.050	185.019	0.710	11.261	0.110	0.017	0.030	42.440	0.110	0.023	1069.920
		②計画(目標)	441.150	385.592	175.599	0.710	11.261	0.110	0.017	0.030	42.440	0.110	0.000	1057.019
	認定熱回収業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		②計画(目標)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	①現状(前年度)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		②計画(目標)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※現状(前年度):令和4年度実績です。 前年対比 1.2%の削減を目標とします。